

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大牧小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	国語科では文章内における漢字の活用について課題がみられることから、学習指導の場面でも実際に繰り返し書く活動を行っていただくことで知識の定着を図っていく。文章の読解と合わせて課題がみられることから、筆者が何を伝えたいのか主語と述語の文章の組み立ても意識して理解できるように学習活動の中で明確にするよう指導を行う。 算数科では、計算方法などの基本的な学力が身に付いていることが分かるが、資料の読み取りについては課題がみられている。学習場面では、どのように資料を読み取るのかなど、読み取る方法についても繰り返し指導を行う。
↓	↓
実施する学力向上策 【時期・頻度】	年間を通して「文章を読み取る力」「資料を読み取る力」を意識した指導をお粉・タブレットを活用した「文の構造」の視覚化を行い、主語と述語の関係を探るのか苦手な児童には、タブレット上で文章の主語を赤、述語を青でマーカーを引くなど、構造を視覚的に整理する個別学習を取り入れていく。

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	結果分析(2月)
↓	↓	結果提供(2月)
今年度の成果と 次年度の課題	策の妥当性	結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月)	学力向上策の実施
↓	調査問題の解説	小学校全体での取組
結果から考えられる 児童生徒の実態	調査結果の終了報告	②単元テスト・定期テスト等の分析・活用

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月)	学力向上策の充実
↓	学力向上策の充実	第2回学習状況調査研修会
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組	学力向上支援研修

- ①学校全体での取組
- ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用
- ③中間評価を経た取組
- ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	調査結果分析(7月)	調査結果分析(7月)
↓	調査結果分析(7月)	調査結果分析(7月)
結果から考えられる 児童生徒の実態	調査結果分析(7月)	調査結果分析(7月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)